

令和6（2024）年度

児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書

（ 京都市桂徳 ）児 童 館

		活動名	実施回数	参 加 人 数										内 容	成 果 と 課 題	
				乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生	大人	ボランティア					合計
					自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中高生	大学生	大人			
子 ど も 育 成 機 能	基 本 活 動	(4) 卓球クラブ	42回	1	85	530	144	59		3			26	848	地域の才田さんにお越しいたき、卓球の技術・ルール・マナーを学ぶ。 毎回、ビギナークラスと選手クラスに分け、30分ずつ実施した。新設したビギナーではラケットや球・台に触れることを通して卓球を好きになることを主目的とした。以前に人数制限で断られたことのある子の保護者からは嬉しいと声をいただいた。当初、ビギナーの人数はとても多かったが、最終的には2人程度となった。進級した子も4人ほどいたが、12月ごろの館内大会期間から参加が途絶え気味になったので来年は声掛けなど意識したい。	
		(4) 将棋クラブ	11回		21	82	35	24		1			9	172	廣田先生にお越しいたき、将棋のルールやマナーを身につける。初めての子も駒の名前から動き方、将棋の指し方を学ぶ。また詰将棋などの実践、クラブ内大会など実力を計る場を設ける。 廣田先生や廣田先生から紹介いただいた大学生と交流し楽しみながら、将棋の基礎知識、マナー、戦術的思考を学ぶ場となった。マナーが前提にある一方で、将棋に熱い気持ちをもつ子がたくさん生まれることを先生も重視しており、楽しさから前のめりになる姿も大事にした。1年生の将棋人口が増え、確かな実力者も中に数人いる状態となったことが何よりの成果である。	
		(4) 写真部	16回		74	39	42							155	毎月テーマを設定し、写真を撮影する。個人のアルバムを制作する。写真展を開催し地域の方に写真部の活動を見ていただく。児童健全育成推進財団「じどうかん」冊子の表紙撮影。 アルバム制作について、購入していただくアルバムのページ数を減らし完成まで見通しがつけやすいようにした。引き続きお出かけ撮影会を楽しみにしている部員が多く、大きな遊具などがあるログスランドに撮影に出かけた。思い思いに好きな景色を撮影し、お気に入りの写真を楽しみながらアルバムに飾ることを楽しむ。またじどうかんまつりではチェキを使用し、展示のモザイクアート前でお客さんの写真を撮りお渡しする。お客さんとのやりとりに緊張する部員もおり良い経験となる。撮影に出かける場所が毎年似通っており今後さらに幅を広げていきたい。	
		(2) あやのとみさとのおりがみ教室	12回		13	182	14	38						247	5年生、6年生のみさとちゃん、あやのちゃんが先生となり、おりがみ教室を行う。 あやのちゃんにとって最後の1年ということで本人にもその意識がある。教室前の準備についても積極的に行い、自宅に持ち帰って用意していた。3館合同zoom開催での教室では各館の進み具合を見る画面が2つになり大変だったとのことだが、簡単な内容にしたこともあり速やかに完成し達成感があった様子。みさとちゃん1人で説明することが何度かあったが問題なく行っていた。あやのちゃんの卒業により次年度よりこうきくんが新先生として参加。	
		(2) #はらっこ絵本時間	12回			138		1						12	151	地域の原さんにお越しいたき絵本の読み聞かせを開催する。 毎回原さんが図書館で絵本を借りてきていただき、読み聞かせをしてくださり、子どもたちの楽しみの一つになっている。学童クラブのおやつとの時間と重なることが多く、十分に子どもたちに参加できる時間設定ができていないこと、読み聞かせが聞こえる環境の確保に課題があるため検討が必要。
		(2) ダンス教室	4回		31	19	4							54	REMI先生に講師をしていただきダンスの指導を行う。楽しみながらダンスを覚えられるよう取り組む。初心者でも覚えやすいような簡単な振り付けをメインで行っている。 子どもたちに親しみのある曲を選定しながらダンスの指導を行っていただく。子どもたちに人気の取組であったが、講師の都合により年度途中で中止となる。子どもたちから「ダンス教室をしてほしい」との声も挙がっているため、他の講師にきていただくなど実施に向けて検討していく。	

子ども育成機能	基本活動	(2) わくわくさん	12回		21	187	15	21					244	今年度新たにはじめる。 子どもたちがわくわくするような工作 や体験を行う。	職員が毎月輪番で行い、毎回性格が違う取り組みと なった。毎月キャンセル待ちも絶えなかった。ただ し、他の取り組みにも言えるが、学童登録児童の申 し込みがほとんどである。内容は工作や体験として いたが、体験型取り組みは今年はあまり行われな かった。地域の方や学童のこどもに講師をお願いし 準備するなど運営方法も様々な実践し活動記録も共有 している為、職員それぞれに来年度につながってい ると期待したい。
		(3) JUMP-JAM	2回	1	15	8	2			5			31	児童健全育成推進財団JUMP-JAMのプロ グラムを活用し、桂徳グラウンドにて 実施する。	運動が得意な子も苦手な子も楽しめる運動あそびプ ログラムのJUMP-JAMを実施。今年度は小学校のグラ ウンドを使用し、2回実施した。グラウンドは遊びの 範囲がわかりにくいとため、ボールなどわかりやすい 表示が必要であった。次年度はあそびの一つとして 定着させるため、定期的に実施をしていく。
		(4) フレンドリースペ ース	62回				124	24					148	小学3年生以上の登録制高学年クラ ブ。 自分たちでやりたいことを企画・実行 する。 今年度は児童健全育成推進財団主催の 「こどもDoまんなかプログラム」に応 募し、助成金を受け1年間取り組む。	対象を3年～に引き下げたが、4年生4人のみ登録 し、途中7人となったが、最終的に5人となった。 助成金を元手に旅行の資金集めに年間通して着手。 じどうかんまつりやみつばち冬バザーで手作り物品 や不用品を売り、計画を練り直し、有馬温泉と廃線 敷ハイキングに行く1泊2日旅行を行った。バザー 出店依頼をこどもたちが取り付けるなど、主体性が 光る取組となった。
		(3) 夏休みお出かけ企画	1回		7	23	1	10					41	夏休みのお出かけ企画として、万博記 念公園へ出かける。	屋外と屋内両方で過ごせる場所として万博記念公園 と国立民族学博物館へのお出かけを企画。公園では たくさん自転車で立体迷路と遊び、博物館では 世界の文化に触れた。酷暑または雨天を心配した が、天気も良く気温も京都より低く過ごしやすい旅 行となった。大型バスの乗車人数を定員として申込 制としたが、倍以上の申込があり、全員を受け入れ られないことが課題として残る。
		(3) ミュージックケア小 学生	1回		1	11	1	1	2			1	17	午前中に乳幼児向けに地域の森田さん が開催してくださっているミュージッ クケアを小学生向けに開催した。	夏休みは小学生向けのミュージックケアを実施し、 学童クラブの子どもたちがメインで参加した。放課 後等デイサービスさんばちJET sの子どもたちと一緒 にミュージックケアを楽しむことができた。障害の ある子どもたちとの交流の機会となっている。
		(2) オセロ取組	17回		1	252		56					309	オセロ取り組み期間内に多くの対戦を 行い、館内大会、ブロック交流大会に 挑戦する。	館内に名前を張り出し活動を行う。名前を張り出す ことで自分もやってみようと1年生の参加は多数 あった。館内大会も継続して取り組みに参加してい る子どもが出場。悔し涙もありつつ、真剣に取り組 む姿が見られた。
		(2) 館内オセロ大会	1回		11	2	2			4			19		
		(2) ブロックオセロ大会	1回		3		2						5		
		(2) マンカラ取組	13回			194		1					195	マンカラ大会に向けて取り組み、対戦 を重ねて館内大会、ブロック交流大会 に挑戦する。	普段も含めマンカラをする人は多いものの大会に参加 したい、という人数が少ない。対戦カードと対戦 回数でシールを貼っていく一覧を貼り出し、期間中 何度も挑戦しており取組への参加は多い。大会に繋 げられるような工夫が必要か、土曜開催で習い事が 多く難しいか、今後検討する。
		(2) 館内マンカラ大会	1回		5	2							7		
		(2) ブロックマンカラ大 会	1回		1	2							3		

子ども育成機能	基本活動	(2) 卓球取組	15回		16	149	4	4		1			174	卓球取り組み期間中に対戦を重ね、館内大会、西京ブロック交流大会などに挑戦する。	主に卓球クラブ選手クラスの子たちが活躍する場となる。西京ブロックの大会の規模が大きくなり参加希望者のほとんど全員が参加できた。昨年度以前からの目標も個々に持っていたので、それぞれに価値のある経験の場となったと思う。ブロックとしての交流大会の存続が怪しいが、緊張感をもって実力を発揮する場は、特に卓球クラブの子たちには重要である。卓球クラブの項目でも記述したが、この期間にビギナークラスの子たちが卓球クラブを離れてしまう傾向が今年はあったので、その子たちのフォローが必要。
		(2) 館内卓球大会	2回		2	9	4	1					16		
		(2) 西京ブロック交流卓球大会	1回	3	9		5			10			27		
		(2) ドッジボール取り組み	9回		19	65	10	18					112	西京区の児童館の5館による交流ドッジボール大会に向けてドッジボールに取り組み練習を重ねた。	西京区の児童館5館によるドッジボール大会に向けて、子どもたちが積極的に練習に参加し、本番に向けた意欲的な姿勢が見られた。低学年チームは練習の成果を発揮し、準優勝を達成。練習を通して協力し、目標に向かって努力する姿勢が育まれたことは大きな成果となった。一方で、高学年チームの参加者が集まりにくかったことが課題として挙げられる。募集の広報が不足していたため、積極的な呼びかけや告知方法を工夫する必要がある。また、大会当日は審判の判定に対する不満を声に出し、他館の職員から注意を受けることもあったので、事前にマナーについても周知が必要であったと反省する。
		(2) 西京ドッジボール大会	1回	3	14	14				14			45		
		(2) 将棋取組	15回		9	111		2					122	本将棋、はさみ将棋、王様つめの館内将棋大会、ブロック交流将棋大会に向けて主に将棋クラブのメンバーに参加を募り、大会に向けて対局を繰り返し挑戦した。	将棋クラブを通じて本将棋の選手層はとても厚いものとなった。はさみ将棋・王様つめを取り組み期間中に積極的に促す。結果的に人数を確保できたが、やる気のあるひとりひとりを確実に動機付けすることがとても重要だった。今回、遊び方を覚えたこともたちと共に普段から本将棋以外の様々な遊び方を試せる環境づくりをすることが今後につながると考えられる。
		(2) 館内将棋大会	3回		10	11	7	3				1	32		
		(2) ブロック将棋大会	1回		6	1	1						8		
		(2) ギネス取組	15回		5	202	2	33					242	西京区の交流行事であるギネス記録会に参加する。けん玉、お手玉、コマの競技を行う。	各競技ごとに名前、記録を張り出し取り組む。1年生は特に名前張り出しをされたくて取り組んでいたが、反対に中学年くらいからは名前を張り出されたくない、との意見もあり張り出しをしていない人もいた。最高記録を張り出すことでチェックは大変になるが、闘争心に火をつけたようで競うきっかけになった。また200回超え、達人と張り出すことでそれくらいならと高学年の参加も多くあった。
		(2) クリスマス実行委員会	6回		1	43							44	小学生以上向けのクリスマス会を企画・開催するため実行委員を募り、会議を行い役割分担をして準備を進めた。	小学生以上の子どもたちを対象にクリスマス会を企画・開催するため、実行委員会のメンバーを募集。主に1〜3年生の子どもたちが参加し、役割分担を通じて主体的に準備を進める。本番では、子どもたちが企画した遊びのお店が成功し、参加者全員が楽しめるイベントとなった。また、子どもたちの自主性や協働する力が育まれたことは大きな成果だった。一方で、子どもたちとの事前打ち合わせが不足し、準備の過程で役割や内容が不明確な部分があった。定期的なミーティングや明確な役割分担表の作成を通じて、子どもたちが安心して準備に取り組める環境を整える必要がある。

子ども育成機能	基本活動	(3) ハッピークリスマス会	1回	4	40	11	14			3			13	85	小学生以上向けのクリスマス会を開催。実行委員が主体となり、参加者全員で楽しめるようなイベントを行った。	実行委員会の子どもたちが中心となり、小学生以上を対象としたクリスマス会を開催。当日は多くの子どもたちが参加し、賑やかなイベントとなる。「ぼけっとくまさん」「ノアノアさん」による読み聞かせ・コンサートも好評で、参加者全員が楽しめる時間を提供することができ、子どもたちの主体性が発揮された。一方、工作コーナーがスムーズでなかったことや、コーナーごとの参加回数のルールが分かりづらかったことが課題として挙げられる。事前にコーナーごとのルールや案内を明確化しておく必要がある。
		(3) 習字DEワークショップ	2回	1	10	3	4			5			2	25	地域の習字教室でご活躍の矢野貴翔さんによる習字ワークショップ。 1回目は「お皿づくり」2回目は「ろうけつ染め」を実施する。	習字や筆に触れ合う機会となった。参加者は取り組み時間目一杯自分が決めた文字を書き、取り組んでいた。講師と事前に打合せを行い、行程の多いろうけつ染めもスムーズな運営ができた。次年度もしてほしいと参加者からの声もある。
		(1) レゴワークショップ	2回											0	京大レゴ同好会さんにお越しいただき、児童館レゴの作成ワークショップを実施する。	じどうかんまつりで展示することを目標に桂徳児童館の立体模型作成を2回に分けて行う。学童クラブ4年生以上の有志を募り、打ち合わせからこどもと共に行う。こどもたちは熱心に愛着をもって取り組んでくれた。レゴ同好会さんも継続的な関わりを望んでくれている。もう少し低い年齢からでも参加できそうである。
		(7) 中高生タイム	61回						163					163	17時以降の中高生の居場所づくり。	特定の中学生が定期的に遊びに来てくれている。3組ほどバラバラで遊びに来る集団がある。その中の1組は桂徳学区外の友だちを連れてきてくれている点特徴的である。高校生の直接的な利用は現在ない。中高生どちらも児童館だよりなど具体的な広報をしていないのが、今後の喫緊の課題である。
		(3) ポケモンカードバトル大会	1回		4	4	5							13	こどもの意見から発展した企画。 5年生男子が自由来館児童に向けたポケモンカードバトル大会を企画・準備・運営をする。	5年生の男子よりポケモンカードバトル大会を開きたいと要望があり開催。大会のチラシや当日の流れ・ルール、使えるカードの規定など全て5年生自身で考え当日の司会進行まで担当した。自由来館の参加も多く、トーナメントでは勝ち負けに一喜一憂する参加者たちの姿が見られた。5年生満足気にしており、もう一度開催したいと意欲的。デッキ以外の持参禁止のルールがあったが周知できず、持ち込み多数有り。次年度開催する場合は相談する。
		(3) UNO大会	1回		6	8	5		2					21	こどもたちに人気のUNOの大会を参加者を募り実施。	UNOの景品をいただいたことからUNO大会を企画、実行する。取り組みとしての期間は設定せず、ルールを事前に張り出し、各自遊び時間にお友達と楽しんでいた。当日遊びにきていた中学生も飛び入り参加するなど参加しやすいなじみのあるカードゲームだからこそでできる大会になったのではないかと思う。
		(2) 財団ギネス取組	11回			85		47						132	児童健全育成推進財団の実施しているギネス記録ランキングに参加する。	夏休みの学童クラブ利用者を主な対象者として実施。職員があらかじめ3種目から浮き輪の種目を選ぶ。記録測定の要領をこどもたちが十分に把握して以降は、順番待ちの整理、動画の撮影などすべてこどもたちにお任せする。実施期間を通して上手になった子は最終的に全国のランキングの上位に入ることでもできた。撮影データの最終チェックを後回しにし過ぎて集計にまとまった時間が必要になってしまったことが反省点として残る。

子ども育成機能		(3) 避難訓練	12回	1	9	815	2	189		27			2	1045	避難経路、避難方法を確認し、地震や火災の発生、不審者侵入を想定した避難訓練を実施。消火器訓練の実施。また、西京警察署のおまわりさんに来ていただき、防犯に関するお話と不審者対策について学ぶ。	月1回さまざまな災害を想定した避難訓練を実施した。洪水避難訓練ではクイズ形式で洪水に関する避難行動を学ぶことができた。消防署立会いのもと火災の避難訓練を実施する予定であったが、緊急出動と重なり実施できず、児童館のみで行った。学童保護者向けに引き渡し訓練も今年度は実施し、実際に保護者に引き渡すときの注意点や保護者への通知の方法などを職員間で確認することもできた。
		合 計		14	449	3202	449	532	167	73	0	0	66	4952	-	
	推 進 活 動													0		
														0		
		合 計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	合 計			14	449	3202	449	532	167	73	0	0	66	4952		

＊注 基本活動は、指針に基づき(2)遊びの教室活動(3)行事活動(4)クラブ活動(5)地域間交流促進活動(6)障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進(7)思春期児童の活動支援に分類して記入すること。
 推進活動は、指針に基づき(9)地域を知る活動(10)移動児童館活動に分類して記入すること。
 指定活動は、指定児童館のみ別途報告すること。

令和6（2024）年度

児童館事業年間活動報告書

（京都市桂徳）児童館

		活動名	実施回数	参加人数										内 容	成 果 と 課 題	
				乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生	大人	ボランティア					合計
					自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中高生	大学生	大人			
子 ど も 家 庭 支 援 活 動	基 本 活 動	(1) ②子育てほっと広場	105回	226	3	1		1		181			1	413	遊戯室、図書室など自由に遊べる場を設ける。	いつでも遊びに来ていい空間ということを知らない方もたくさんおり、1年通してはじめて来る方や取り組みの中の会話などで広報をかける。夕方に乳幼児親子が来館ができたり、取り組み以外に遊びにきて呉れる方が徐々に増えたと感じる。
		(1) ②さんさんばーく	33回	79					6	77				162	遊戯室、図書室など自由に遊べるよう月齢に合わせて大型遊具などを準備。11：30からは職員のふれあいあそびや絵本読みを実施。	輪番制で職員が担当し取り組む。時間・内容などばらつきもあったが11：30ごろに絵本読みを行い、いったん締めることで帰るきっかけになっていた。絵本読みを楽しみにしてくださる声もあり、次年度も続けていきたい。
		(1) ②こぐまちゃんひろば	16回	59					3	59			14	135	0歳児の親子を対象にした広場。お子さんの月齢に合わせた手あそびやふれあいあそび、工作などを隔週で行う。2週目の活動日にはお誕生日会を実施し、写真と足形のカードをお渡しする。	おたよりのほかに児童館内に取り組み日や内容など張り出すが参加人数は伸びず、多くても5組くらいの参加に留まった。お誕生日会に至っては広報不足にも感じ次年度はもう少し宣伝もしていきたい。参加してくださる方は11:30終了後も12:00ごろまで残りお話も楽しんでいった。
		(1) ①くまさんクラブ	35回	360					3	360			41	764	1歳以上を対象とした登録制の幼児クラブ。季節の歌や手あそび、体操、設定あそびを提供し、親子で楽しんでもらう。よりダイナミックな工作や、西京警察署との交通安全教室を年3回実施。	保護者同士の口コミで年間を通して少しずつ利用者が増えていった印象がある。こどもの遊びを引き出すための注意をひく技術や仕掛け、雰囲気づくり、引き出したからにはすべて受け止める態度を毎回の現場では重視した。保護者同士・こども同士が仲良くなっていく姿・できることが増えていく姿が何よりの成果であった。
		(1) ②ヨガ教室	12回	64						63			12	139	講師に来ていただき、本格的なヨガの指導をしていただく。小さいお子さん連れの方も参加可能としているが、自分の子どもは自身で見えていただきつつ、職員も補助で入るようにする。	春～夏は参加人数にばらつきはあったが、秋ごろからメンバーが定着し始める。泣くこともあるがまったく参加することができない方はいなかった。母同士の交流もあり、子育て中のママのリフレッシュタイムになっていると感じる。
		(2) 大人ヨガ	12回	1						95				96	講師に来ていただき、本格的なヨガの指導をしていただく。前年度に引き続き登録制の形をとって行う。	登録メンバーの出席率に幅があり、新規メンバーの募集を行うべきか検討する年度となった。再度登録メンバーに意向を確認し、次年度はしっかりとサークル活動として実施していく。
		(1) ②ミュージックケア ねんね	11回	51						54			11	116	地域の森田さんに講師として来ていただき、楽器やバルーン、スカーフなどを使い、親子で音楽に合わせてふれあいを楽しむプログラムを行っていただく。	昨年度まで別々で行っていたよちよちとわいわいを合同にして開催。いずれも年度末に向けて徐々に参加人数が減っている。おたよりをHP等で見てくださり他学区から参加される親子も含めおおよそ4組前後の参加が多かった。参加されている方は森田さんのミュージックケアをとても楽しみにしてくださっており、セッション後には森田さんとおしゃべりや子育ての悩み相談などされている。取組についてニーズの変化があるのか、広報等を検討していく。
		(1) ②ミュージックケア よちよち・わいわい	12回	89						88			12	189		
		(1) ②お昼ごはんタイム	29回	104	1					54				159	育成室にて持参していただいたご飯を食べる場所の提供。	おたよりや各取り組み後にお伝えし、準備している。児童館と一緒にあそび、コンビニなどで買ってたべる方や、帰ってからすぐに寝てしまう、という方が利用されていた。

(1) ②ほっとカフェ	7回						15				15	育成室にて持参していただいたカフェとお菓子の提供。	乳幼児親子の利用はなかったが、中学生が多く利用していた。あまり近所にカフェがないこと、気軽に行けないとこのことで利用する。別のニーズの発見につながった。	
(1) ②民生委員主催なかよしっこ	8回	34						33			50	117	民生委員さん主催の乳幼児ひろば。遊具の開放や、絵本の読み聞かせ、お土産渡しを行う。	地域の民生委員さん主催の乳幼児ひろば「なかよしっこ」を毎月木曜日に開催。遊具の開放、絵本の読み聞かせ、お土産配布など、乳幼児と保護者が楽しめる内容を提供。民生委員さんとの連携を通じて、地域とのつながりを深める機会となった。一方で、参加者の集まりが少なかったことが課題として挙げられる。広報活動が不足していたため、積極的な告知が必要。また、職員が民生委員さんに任せきりにせず、ふれあい遊びやプログラムの企画に積極的に関わることで、イベントの魅力を高め、参加者を増やす努力が求められる。
(2) みんなであそぼうブラレール	1回	27	14	4	1			29		1	5	81	鉄道模型であそぼう会の方に来ていただき、ブラレールあそびを行う。	昨年度はNゲージの運転体験ができる取組を実施したが、乳幼児親子も気兼ねなく参加できるようにとブラレールあそびを行う。たくさん乳幼児親子、小学生が参加し、ニーズの高さを感じた。
(2) 土曜もあ・そ・ぼ	3回	31	3	11				26				71	乳幼児親子対象の土曜日のあそびの広場。父母だけでなく、普段なかなか利用が少ない祖父母も対象に、一緒に児童館で楽しむ機会として実施。	父・祖父母の利用よりもむしろ、普段児童館に來れない就園児の利用が重要だと思われる。ひろばとして告知するだけでも一定数来てくれる地域の現状を伺うことができた。ぬりたくり遊びは区をまたいで関心のある方も来てくれた。土曜日の少人数学童クラブを巻き込み、異年齢が交わる遊び場づくりや、職員とこどもとの関係を直に見てもらうことによる児童館の周知をした。
(2) さつまいもほり	1回	4	10	2	5			8			2	31	地域の山内農園さんにご協力いただき、さつまいもほりを行う。	一人1苗200円で広報し、定員以上に申し込みがあった。天気や、育ちぐわいによって収穫が左右され、児童館前の畑から河川敷の畑に場所が変わるなどあったが、幼児さんから楽しんでた。また、学区外の親子の参加もあり小学生交流もあった。
(1) ②乳幼児クリスマス会	1回	12						11			4	27	民生委員主催なかよしっこと合同でクリスマス会を開催した。	民生委員さんと打ち合わせし、工作づくりをメインに据え参加者が体験する会とする。工作の補助等を通じた参加者と民生委員さんの積極的な関わりも生まれ、今後の民生委員さん主催ひろばへのヒントにもなった。ここでの参加が継続的な取組への参加につながらないことは悩ましい。
(1) ②はじめてのクリスマス会	1回	16						16			1	33	0歳児向けのクリスマス会を開催した。内容は寝相アート。	はじめて来館の乳幼児親子も多数参加し、寝相アートやパネルシアター、クリスマスの手遊びなど楽しむ。日々の利用や0歳さんのひろばへの利用につながるよう工夫していく。
(2) にこにこ防災コンサート	1回	3	2	10	1			2			15	33	京都ムジークフェラインさんにお越しいただき、乳幼児親子・小学生親子が楽しめるコンサートを実施する。コンサート中に避難訓練をする。	ムジークフェラインさんと事前に打合せをすることができ、防災コンサートの目的を踏まえ、コンサートを実施していただけた。参加人数が少なく「防災」ということばに堅いイメージを持たれる方が多かったかとコンサート名や広報の工夫が必要だったと反省が残る。

子ども家庭支援	基本活動	(1) ②足型アート	11回	102	4		1			87			24	218	子育て中の母2名による、足型アート教室。 毎月季節の足型アートを行う。	スタートは人数すくなかったが、秋ごろからメンバー定着し始め、定員ギリギリまで申し込みある。毎月の足形のほかにプラバンや児童館まつりにもコーナーを出してもらい、小学生にも魅力的な取り組みとなった。	
		合 計		1262	37	28	8	1	27	1243	0	1	192	2799	}		
		(3) 子育て家庭相談・援助活動	子どもの年齢	件数	受 理 及 び 相 談 経 路			件数		相 談 内 容			件数	つないだ機関等		件数	
			乳児 幼児 小1～3年（自由来館） 小1～3年（学童） 小4～6年（自由来館） 小4～6年（学童） 中学生 高校生	6 22 3	児童館にて直接受理 児童相談所 保健所 子ども支援センター 主任児童委員 その他 { }			31		健全育成問題 家庭養育問題 成長・発達問題 教育問題 非行・問題行動 その他 { 名前の呼ばれ方、お弁当について }			15 1 9 0 1 5	児童相談所 保健所 子ども支援センター 幼稚園・保育園 小学校 中学校 総合支援学校 その他 { 放課後等デイサービス 西京区社会福祉協議会		3	
			件数 計	31	－			31		－			31	－		3	
	(4) 子育てグループを育成・支援する活動		グループ名	構成人数		活 動 内 容				育成・支援内容			成果と課題				
		足型アート	2		子育て中のママによる自主的活動。 足型アートの取組の企画・準備・運営。				保護者同士が交流し合えるよう環境を整え、スムーズに取り組みが行えるよう調整する。			今年度も引き続き2名の子育て中のママさんに講師を依頼。パーツづくりや企画は講師お二人にお願いし、当日の準備などは基本的には児童館で準備を行う。連絡を頻繁にとり、準備物の確認などを行う。今年度末で1名講師を辞められるため、次年度から講師1名と職員での体制で企画・準備・運営にあたる。子育ての中作業になるので負担がにならないよう気を付けたい。					
		大人ヨガ	13		子育てが一段落した母や、地域の方が所属するヨガ。月に1回のリフレッシュタイム。				取組日の調整や講師の方との連絡調整をする。			新しいメンバーの登録もあり、月に1回のヨガを楽しむにされている。急遽取組の中止などがあった場合に備え、皆さんに39メールの登録をお願いするが全員の登録確認できず。次年度も声掛けしながら活動していく。活動前後でメンバー同士お話される姿もよく見られ、立ち話をしながら過ごされていた。					
	推進活動	(5) 子育てと健全育成に関する啓発活動	活動名	実施回数		活 動 内 容							成 果 と 課 題				
			交通安全教室	3		幼児クラブ「くまさんクラブ」内で行う交通安全教室。西京警察の方に来ていただき、わが子を守るために学ぶものであることも伝え、行っていただく。							くまさんクラブ内で、それぞれ信号のわたり方・自転車の乗り方・バスの乗り方を勉強する。遊びながら学ぶ時間はこどもたちも喜んでくれているようだった。質疑も内容によっては活発に行われた。年間を通して同じ担当の方が来てくれたので、こどもたちの成長を喜んでもらえる場となったこともよかった。				
子どもの成長とあそび			1		子育てで包括アドバイザーの竹本久美子先生に来ていただき、子どもの発達とあそびの関係性についてお話いただき、子育て相談会も行う。							テーマに沿って心配事、悩み事がある乳幼児親子が集まり、竹本先生とお話しつつ「1つの意見を聞く場」としてお話してください。各回人数は多くはなかったが、母が思っている悩みをアドバイスしていただいたり、当日来れないという乳幼児親子の質問を受け付けていただきアドバイスをいただく場となった。その時に一番困っているものにも臨機応変に答えて下さるので母たちも相談しやすそうに感じた。					
子どもに伝わるほめ方・しかり方			1		子育てで包括アドバイザーの竹本久美子先生に来ていただき、子どものほめ方やしかり方のポイントなどについてお話いただき、子育て相談会も行う。												

子ども家庭支援活動	推進活動	(5) 子育てと健全育成に関する啓発活動	えほん館花田先生のお話会	1	えほん館の花田先生にお越しいただき、月齢に沿った絵本の選び方や読み聞かせの方法など具体的に教えていただく。	毎年えほん館の花田さんによるお話会を実施しており、何度か足を運んでくださる参加者の方もおられた。参加した乳幼児の保護者より、なかなか絵本を読み聞かせしてくれる場がないので参加してよかった、との声があった。講師との打合せが開催間近となってしまったため、内容について事前に打合せする時間を設けていきたい。
			歯科衛生士さんのお話会	1	西京保健センターの歯科衛生士さんにお越しいただき、乳幼児期の歯磨きの仕方のお話や歯ブラシチェックなどについて教えていただく。	参加された方からのたくさんの質問もあり、いろんな方面からの質問で一緒に聞いているものも勉強になる時間であった。フッ素のお話ではどれだけフッ素が大切なのかゆで卵を使い実践してくださり、母からも驚きの声が聞こえた。
			子育てマネー講座	1	近畿財務局の方にお越しいただき、子育て家庭が知っておきたいお金の知識や生活設計、お金の貯め方などについてお話いただく。	広報では「難しそうな内容」と懸念される声もあったが、参加している方は積極的に質問もして過ごされる。中でもNISAの質問が多いように感じた。子どもたちは落ち着いて遊んだり、朝寝をしたりと児童館だからできるゆったりした時間を過ごしながら母たちもお話を聞けたように感じた。

※注 基本活動は、指針に基づき(1)乳幼児とその保護者を対象とする活動[①乳幼児クラブ活動 ②乳幼児の広場活動]（2）家族参加を促す活動に分類して記入すること。

令和6（2024）年度

児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書

（ 京都市桂徳 ） 児 童 館

地域福祉促進機能	基本活動	(1) 地域住民との交流を促進する活動	活動名	実施回数	主 催	参 加 人 数						連携団体	成果と課題		
						乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生			大人	合 計
							自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ					
		桂徳まつり	1回	自治連合会	120	180		150		4	100	554	自治連合会 足形アート講師	児童館からはダンボール迷路コーナーと子育てフリマを出店する。ダンボール迷路はリピーターも多く、たくさんの乳幼児親子、小学生、中高生が参加してくれた。地域のさまざまな方々につながる機会となっており、今後も協力体制をとっていきたい。	
		なかよし広場	2回	桂徳子育て連絡会	23		7				19	49	民生児童委員会 学区社会福祉協議会 長谷川乳児保育室 みつばち保育園	今年度は「ダンボール迷路」と「防災運動会」を実施。平日開催のなかよし広場は参加者が少なく、日程の設定に課題あり。防災運動会は雨天のため中止となるが、児童館にて学童児を主な対象に縮小開催して実施する。	
		桂徳じどうかんまつり	1回	児童館	76	96	10	64	3	34	195	478	民生児童委員会 学区社会福祉協議会 放課後等デイサービスさんばちJET s	開館15周年のイベントとして、様々な児童館事業を集結するようなおまつりを実施する。桂中学校吹奏楽部による演奏もあり、たくさんの中学生とその保護者の方々が来場してくださった。2階の遊戯室が混雑しており、密集状態であったため、小学校の体育館使用や会場の配置の検討が必要。	
		はじめましてお誕生会	4回	桂徳子育て連絡会	12						12	24	民生児童委員会 みつばち保育園	昨年度の課題を踏まえ内容を検討。参加人数は増えており、学区外からの参加が多い。参加された方はそれぞれみつばち保育園の先生に積極的に質問されていた。事業名を見て誕生日祝いを期待して来られる方が多い様子だったため、月齢フォト用のグッズを購入し、写真を撮る時間を設けた。好評だったため今後も続けていく。	
		合 計		－	231	276	17	214	3	38	326	1105			
機 能	動 作	(2) ボランティア活動の推進	活 動 内 容			活 動 人 数				成 果 と 課 題					
						中高生	大学生	大 人	合 計						
			卓球クラブ						26	26	継続的な関わりのある地域の才田さんに定期的に来ていただいている。確かな技術をもって子どもたちと向き合ってくれること・勝負の世界が垣間見れる中で難しい言葉かけを自然としてくれることから、職員も子どもたちも信頼を寄せている。				
			将棋クラブ						9	9	継続的な関わりのある廣田先生に定期的に来ていただいている。今年は廣田先生のご紹介から大学生にも来ていただいた。確かな将棋の技術と子どもたちをひきつけるユーモアをもって将棋クラブの雰囲気づくりをしていただき、今年は1年生がたくさん将棋クラブに入会した。				
			ミュージックケア						24	24	引き続き地域の森田さんにお越しいただく。ミュージックケアを行う中で気になるご家庭などについてはミュージックケア後に振り返りを行う時間を取りたいとご提案有り、森田さんのご都合の中で時間を取り、振り返りを行った。古くなっていたバルーンを新調。昨年度CDからSDカードに変更した点についてスムーズに楽曲再生に繋がられているが、再生するタイミングなどあらためて相談が必要であった。				
			ヨガ教室						12	12	毎月1回きていただく、ヨガを行っていただく。ヨガの中で、参加者に触れないようにとコロナ化から気にして下さっていたが冬頃からマッサージをするなどのふれあいが復活してきた。母からの評判もよかった。				
			乳幼児クラブ内の絵本の読み聞かせ ＃はらっこ絵本時間						61	61	小学生向けに絵本や紙芝居の読み聞かせをしていただく。低学年の小学生が多く参加。絵本や紙芝居からお話を楽しむ機会となっている。				
			合 計			0	0	132	132						

			連 携 団 体 等	連 携 内 容	成 果 と 課 題
		(3) 地域との連携を 促進する活動	桂徳小学校 桂徳自治連合会 民生児童委員会 学区社会福祉協議会 みつばち保育園 サクラインターナショナルスクール 長谷川乳児保育室	児童館おたよりの配布、小学校行事への参加、グラウンド・体育館の借用 児童館おたよりの地域回覧、学区のおまつりへの協力、学区体育祭への協力 児童館でのサロン、児童館おたよりの地域回覧、地域子育て支援ステーション事業、 桂徳じどうかんまつりの協力 地域子育て支援ステーション事業 地域子育て支援ステーション事業、子育て支援 駐車場の借用 地域子育て支援ステーション事業	児童館の事業に協力していただくことで、児童館を知っていただくとともに 地域で育つ子どもたちの様子を見ていただくことができた。みつばち保育園 さんとは今年度こどもDoまんなかプロジェクトの一環として、みつばちバ ザーにこどものお店を出店させていただいたこと、医療的ケア児の受入れに 伴う引継ぎ会など新たな関わりができた。今後も、より地域の関係機関との 連携を深め、地域の中にある児童館の役割を発揮していける機会を増やして いきたい。

令和6（2024）年度

児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書

（ 京都市桂徳 ） 児 童 館

地域福祉促進推進活動機能	基本活動	(4) 児童館を支える地域組織作り	組織名称	構成団体・個人	会議／取組頻度	議題／取組内容	成果と課題			
			桂徳子育て連絡会（地域子育て支援ステーション）	桂徳小学校 みつばち保育園 長谷川乳児保育室 学区民生児童委員会 学区社会福祉協議会 西京こどもはぐくみ室 西京区社会福祉協議会 桂中学校 放課後等デイサービスビーフレンズ	会議 4回	各機関の情報交換 地域子育て支援ステーション事業の計画、総括について	年4回の地域ステーション会議を開催し、各機関の近況の報告や、事業の相互協力をした。会議では情報交換が主となっており、一緒につくりあげていく取組の実施などが現在できていない。次年度はなかよし広場の内容や、発達に課題のある子どもを対象とした取組について検討していく。			
		(5) 地域への施設提供	会場提供・備品貸出等		使 用 目 的		提供先（団体・機関等）		成果と課題	
			2階 遊戯室		子育てサロン なかよしっこ (桂徳民生児童委員主催)		桂徳民生児童委員会 桂徳自治連合会		乳幼児親子さんが利用。毎回出している遊具やおもちゃを楽しんでもらう。また、民生委員さんによる絵本の読み聞かせやお土産配布は好評だったが、毎月来ていただいている乳幼児親子さんが少なく広報活動が課題となった。	
			図書室の本の貸し出し		絵本・子育て本・児童読み物などの本の貸し出し業務		桂徳児童館		小学生、乳幼児親子が利用されている。絵本の返却のチェックは年に数回だったため、もう少し確認していく必要があったかと思う。また、子どもが職員にチェックしてもらう前に返却してしまうことも時々あるため、その都度声掛けが必要となる。	
			調査名	調査目的	調査対象	調査主体		調査方法	成果と課題	
			乳幼児保護者調査	利用状況 満足度把握 設備環境 職員対応	児童館利用乳幼児保護者	桂徳児童館		アンケート	児童館や学童クラブについて利用者の方から率直な意見をお聞きすることが出来た。無記名での回答が可能なため気兼ねなくご意見を書いてくださる。また紙面でのアンケートということで、乳幼児保護者の方等は直接その場で書いてくださるため回答率が高い。 乳幼児親子からは玄関での出迎え・見送りに関して好評のお声をいただいている。どの利用者に関してもあいさつなど元気に明るい対応を心がけていきたい。 次年度以降もいただいたお声から改善点を解消するとともに取組の充実を図っていきたい。	
			学童クラブ保護者調査	利用状況 満足度把握 設備環境 職員対応	学童クラブ保護者	桂徳児童館		アンケート		
			学童クラブ児童調査	利用状況 満足度把握 設備環境 職員対応	学童クラブ児童	桂徳児童館		アンケート		
			自由来館児童調査	利用状況 満足度把握 設備環境 職員対応	自由来館児童	桂徳児童館		アンケート		
地域調査	利用状況 満足度把握 設備環境 職員対応	児童館利用の地域の方	桂徳児童館		アンケート					

(京都市桂徳) 児 童 館

	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題
広	児童館だより	毎月1回	0～18歳までの児童とその保護者 地域住民	桂徳小学校での全校配布 地域役員への配布 地域回覧 保健福祉センターでの配布 館内掲示・館外掲示板掲示 ホームページに掲載	次月の予定や、取り組みの説明 前月の取り組みの様子報告 館内ルール、児童館利用の方法	毎月発行。児童館前の掲示板に張り出していることで散歩中の方が気になって見てくださる様子もあった。小学校へおたよりを届けることが申し込み日になってしまうこともあり、配布日に差が出たり、申し込み受付に差が出たりしてしまっていた。次年度は発行時期を早め、地域回覧等での広報の時差がなくなるようにする。
	ホームページ	随時	インターネットを利用されている方	ホームページに情報を掲載	児童館の紹介や、取り組みの説明 取り組みの様子報告 児童館だよりの掲載 学童クラブ児童保護者への連絡	おたよりをホームページで見ている、との声が多くある。時間を気にせずに、気軽に確認できるので、今後も継続していきたい。
	ポスター・チラシ	各事業ごと	0～18歳までの児童とその保護者 地域住民	児童館内・掲示板への掲示 地域回覧 来館者への配布 地域商店への掲示	児童館事業及び、地域子育て支援ステーション 事業の実施のお知らせ 日時・場所・参加形態・申し込みの有無	各単発の取り組みをチラシ作成行い広報をかける。チラシを作ることで目に止まり参加してくれる様子はある。
報	西京はぐくみだより	毎月1回	保健福祉センターを利用される乳幼児の保護者	西京はぐくみ室が発行されている西京はぐくみだよりに掲載していただく	次月の乳幼児親子を対象とした取り組みのお知らせ	はぐくみだよりから乳幼児の珍しい取り組みをチェック、利用されている。違う地域の方の利用もはぐくみだよりを見て利用される方多数。
	幼児クラブだより	毎月1回	登録制幼児クラブの保護者	幼児クラブでの配布	次月の予定や、様子の報告 季節のうた・手あそび	毎月の予定・クラブで行う歌と手遊びの紹介・誕生日児童の紹介を定期的に行う。今年は途中入会の方も多かったもので、ほとんど毎回、その紹介も行った。前月の様子を写真をもって紹介した。おたよりを配るたびに保護者の方と子どもとで写真を見ている様子があった。
動	インスタグラムの情報発信	不定期	インスタグラムを利用されている方	SNSで写真を使つての情報発信	児童館の取り組みの様子紹介 児童館の日々の様子の紹介	不定期でSNSを使い、児童館や学童クラブでの取り組みの様子や日々の様子を写真を使ってお伝えしている。児童館のリアルタイムな情報をお伝えする場として機能している。こどもたちから「Instagramに載せてほしい」という要望もあり、ご家庭で見ただけだと実感している。今後も、フォロワー数を増やしていくとともに、取組の報告だけでなく宣伝やPRに活用できるよう、定期的な配信を心掛ける。

令和6（2024）年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

（ 京都市桂徳 ）児童館・学童保育所

	活動の基本目標（指針）	主 な 取 組 名	成 果 と 課 題
生活援助機能	安全・衛生の確保	出欠・帰宅確認 帰宅指導 手洗い・消毒 冬期帰宅時間の設定・調整 防犯訓練・教室	子どもたちの安全と衛生を最優先に、出欠確認や帰宅指導を徹底して行う。特に冬期には帰宅時間を早めに設定し、安全な帰宅を支援する。手洗い・消毒の習慣を促すことで、感染症予防にも努める。また防犯訓練を実施し、子どもたちが不審者対応や安全な行動を学ぶ機会を提供。これにより、子どもたちの安全意識を高めることができた。一方課題として、出欠確認や帰宅指導の際に、職員の情報共有が不十分な場合があった。それにより、繁忙時には確認漏れが生じることも。次年度は、報告・確認の連絡を徹底する必要がある。
	健康の管理・情緒の安定	体調管理の指導 おやつ提供	健康の管理、情緒の安定 成果 子どもたちの健康管理として、体調不良の早期発見や保護者への連絡を徹底して行う。季節に応じた服装や水分補給の重要性を伝え、子どもたちが自分で健康に気をつける意識を育てる。おやつ提供では、栄養バランスを考慮したメニューを提供し、子どもたちが楽しみながら食事をとれる環境を整えることができた。また、週に一度3年生の選んだおやつを取り入れることで、子どもたちの関心を高めることができた。一方で、おやつ提供において、アレルギー対応や好みの多様性への配慮が不足する場合があった。そのため、次年度はアレルギー情報の確認を徹底しておく必要がある。
	基本的生活習慣の確立	挨拶、片付けの指導 手洗い・うがい・消毒の徹底 清掃活動	基本的生活習慣の確立 成果 挨拶や片付け、手洗い・うがい、消毒の徹底を日常的に指導し、子どもたちの基本的生活習慣の確立を支援。特に、毎日の清掃活動を通じて、子どもたちが自分たちの環境を整える責任感を養いました。挨拶の習慣は、職員が率先して実践することで、子どもたちの自己管理能力の向上につなげることができた。一方で、一部の子どもが片付けに消極的で、偏りが見られた。また、手洗い・うがいの徹底が、忙しい時間帯に形骸化する傾向があった。次年度は、片付けや清掃をゲーム感覚で楽しめる工夫（例：ポイント制の導入）や、手洗い・うがいを促す視覚的なリマインダー（ポスターやタイマー活用）を導入し、全員が習慣として定着するような工夫が必要。
	社会生活技術の獲得	帰りの会 児童館事業への参画 思い出遠足 避難訓練	帰りの会を毎日実施し、次の日の取り組み等を伝達。また、日直やゲームを子どもたちが主体的に参加できる場を設ける。児童館事業への参画では、クリスマス実行委員会やドッジボール大会など、子どもたちが企画や運営に関わる機会を提供し、協働する力を育てられた。「思い出遠足」では、遊びや体験を通じて、子どもたちの社会性を高めてもらい、避難訓練では、火災や地震を想定した訓練を行い、冷静な行動やルール的重要性を学んでもらうことができた。一方で、帰りの会での発言が一部の積極的な子どもに偏り、控えめな子どもも参加しづらい場面があった。思い出遠足では、職員間の連絡手段（シーバーが届かず）が不足していたこと、避難訓練では、説明が不足し、一部の子どもが目的やルールを十分に理解できない場合があった。次年度は、帰りの会で全員が発言しやすい工夫（例：テーマを設けた簡単な質問形式）、遠足や訓練の事前オリエンテーションの充実を図り、全員が主体的に参加できる環境を整える必要がある。
子ども育成機能	生活体験の拡大	新入生歓迎会、お誕生日会 修了式・お楽しみ会 思い出遠足	新入生歓迎会について、昨年度の反省を踏まえ参加する学年を限定し遊戯室で行う。天候に左右されず新1年生については落ち着いて開催出来た。1年生の人数が多く待ちきれないのではないか、ということでお名前呼びを割愛、司会とクイズを5年生、迎える言葉を3年生、メダル渡しを6年生にお願いした。それぞれ学年会議での話し合いもあり前に立つ人はやる気がある。役割がない参加者に意識を持ってもらう工夫が必要だった。また待機となる2・4年生の過ごし方や動きについても同じ形で行う場合は検討していく必要がある。 お誕生日会では引き続きケーキ等の特別なおやつ提供、帰りの会でのお祝いとプレゼントとカード渡しを行う。帰りの会ではプレゼントを渡すだけの場になってしまっていたため、今年度は各クラスの色に合わせた飾りつけを増やし、プレゼント渡し後はハッピーバースデーの歌をみんなで歌う、という流れに変更。月々のお誕生日の友達をお祝いするという気持ちを今後も持ってもらえるよう取り組んでいく。 修了式・お楽しみ会は6年生を送る会も含めて行った。お楽しみ会では内容や司会を5年生に取り組みでもらった。話し合いの機会が少なく細部までイメージできていないままの本番となったことで当日うまくいかない場面があったため、どういった形で開催するのか具体的に提示して話し合っていく必要がある。当日の臨機応変な対応についてそれぞれ非常に頑張っており、子どもたちは限られた時間の中、どこを回るかグループで話し合いながら楽しく過ごしていた。階層に分かれていたため全体が見えず職員間の連絡方法が今後の課題。前年度以前の課題を踏まえ往復のバスについてはこまめなトイレ休憩、大きいエチケット袋や携帯トイレを準備。今後も館からの距離を考慮し準備物など検討していく。
	社会性の養成	お当番活動、帰りの会 帰宅指導	お当番活動について、帰りの会の日直のみとなっていた3年生に新たに活躍できる場を設けるため今年度よりおやつ当番を取り入れる。チームを決め、交代で各週の1日分のおやつを考えて決めてもらった。普段職員が気をつけていることや金額の上限を伝え、チームのメンバーと相談しながら好きなおやつを選ぶ機会を毎月とても楽しみに取り組んでいた。また子どもたちならではの選択があり、他の学年の子どもたちも3年生が選ぶおやつを楽しみにしている場面があった。2年生も3年生になったらおやつ当番ができる、と期待している。次年度も続けていきたい。日直についても3年生の枠割として定着しており、日直表を各自で確認し当日の日直は誰か、など自分たちで把握して取り組む。 帰宅指導について、4月に新1年生を含めそれぞれの帰り道について危険な場所などを実際に歩いて確認する。また4月以降は町別での帰宅時にトラブルが多々あり、そのつど話し合いの場を設けた。交通ルールや安全については何度も伝えていく必要がある。
	自立の促進と自主性の尊重	ステージ発表の出演 学年会議 高学年会議 新入生歓迎会、お誕生日会	学年会議について、より明確に役割を作り活躍の場を増やしていきたいという思いから2年生以上の各学年会議については何をやるのか目標を具体的に子どもたちに提示し、企画やじどうかんまつりのコーナーなど取り組んでいった。それぞれ意欲的に参加し取り組む姿があり、また企画そのものを楽しみながら他学年に関わる姿も見られ、子どもたちが活躍し交流できる場作りができた。高学年は3月に1年間の頑張りのご褒美として高学年お出かけ企画を行い、子どもだけでひらかたパークを周り、昼食などの買い物をするという経験ができた。1〜3年生からも来年はまた別の役割や楽しみがあるという憧れや期待を持てる機会となった。

子育て支援機能	子育てに必要な情報の提供と交換	学童クラブだより・学童新聞 保護者懇談会・個人懇談 申請説明会 入会説明会	学童クラブだよりと桂徳学童新聞を発行し、月々の予定や子どもたちの学童クラブでの様子をお伝えした。昨年度まで発行していた紙ブログから一新し新聞を模したおたよりを作成、取組以外の普段の様子の写真を多く掲載し、また子どもたちの日々の出来事をコラムや3コマ漫画の形で伝える。子どもたちも写真等を楽しみにしている様子が見られた。 保護者懇談会、年3回実施。子どもたちの様子をスライド写真を用いてお伝えする。参加人数は少ないため保護者のニーズに合った内容を検討していく。 申請説明会では次年度学童クラブ新規利用予定の保護者を対象に申請方法や学童クラブの概要を説明した。 入会説明会は入会が決定した全ての保護者を対象に実施した。学童クラブの1日の流れやルールについて説明し、また入退室管理についてアプリの使い方を希望者にお伝えした。
	子育ての仲間づくり	保護者懇談会 親子交流会 西京こどもまつり・児童館まつり等での保護者要員	第1回、第3回の保護者懇談会前に親子交流会を開催。第1回ではドッジボールが恒例だったが苦手な子どもを考慮し簡単な遊びに変更したが、一部の保護者の方には参加していただけず、暑さもありすぐに終了した。全員が入れるよう工夫する、また時季をかんがみて遊び内容や場所を検討する必要があった。第3回はドッジボールを予定していたが雪のため室内遊びに切り替える。親子全員で交流しながら過ごす時間がとれた。 西京こどもまつり・児童館まつりでは保護者に要員の要請を行い参加していただく。工作コーナーやあそびコーナー等の補助に入っていただき保護者同士の交流の機会となった。
	子育てを支えるネットワークの形成	桂徳小学校との連携 西総合支援学校との連携 医療的ケア児受け入れに伴う協議	小学校担任の先生との懇談会については、今年度実施できず、個別担任の先生と子どもの様子の共有などを行った。 次年度医療的ケア児を受け入れるにあたり、保護者、育成推進課、訪問看護ステーション、京都市児童館学童連盟と協議を行い、子どもの様子の共有や児童館で必要な支援、児童館でできることの確認をしていくことができた。

令和6（2024）年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

（ 京都市桂徳 ）児童館・学童保育所

行事名	実施回数	学童クラブ児童						登録外児童		ボランティア			その他	合 計	内 容
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1～3年	4～6年	中高生	大学生	大人			
(1) 帰宅指導	5回	38	26	22	19	7	0							112	春休み期間を利用し、帰宅グループごとに帰り道の確認、危険箇所や道路の歩き方を職員が子どもたちに指導・確認などを行う。
(2) 新入生歓迎会	1回	47	0	31	1	9	0							88	4月に新たに学童クラブに入会する子ども達の歓迎会を行う。高学年児童が当日の受付・メダル渡し・司会を行い、3年生児童が迎えの言葉を行う。
(2) 1年生オリエンテーション	1回	47												47	1年生を対象に、オリエンテーションとして児童館の説明やあそびのルールの確認などを行う。最後に〇×クイズを行い、理解をしているか確認を行う。
(2) 1年生会議	2回	45												45	2人1組での机の出し方を学ぶ。（学童机の片付けの指導）
(2) 2年生会議	3回		74											74	2年生企画や3年生になるに当たっての話し合いを行う。
(2) 3年生会議	12回			290				4						294	年間の学年目標・個人目標を決定。学童クラブのリーダーとしての役割を確認する。
(2) 3年生企画	2回	49	36	52	14	11	0	17	4				3	186	3年生が会議を重ね、水鉄砲バトルロワイヤルやお化け屋敷を実施。
(2) 3年生おやつ当番	33回			93										93	3年生がお当番として、週1回のおやつ決めをする。
(2) 高学年会議	16回				216	84								300	新入生歓迎会や児童館まつりのあそびコーナー企画・運営を行う。
(2) 高学年企画	2回	80	57	51	52	21	1	3						265	高学年が会議を重ね、だしがしやさんや正月あそび、お出かけ企画を実施。
(2) ステージ練習	31回	141	217	205	3	1	0	1					10	578	西京こどもまつり、桂徳まつり、児童館まつりなどのステージ発表に向けて練習を行う。
(2) ステージ衣装づくり	1回	8	11	8				2	2	1		1		33	児童館まつりのステージ発表に向けて衣装づくりを行う。地域の絵本作家どうなつみさんに来ていただく。
(2) サッカー交流大会	1回	3	1	1	9	2	0	0	1					17	桂徳児童館・嵯峨野児童館でサッカー大会を開催し、2館での交流を深める。
(2) モルック交流会	1回	4	8	4										16	崇仁児童館・嵯峨野児童館との交流を深め、梅小路公園にてモルックを行う。
(2) お誕生日会	12回	506	369	297	234	73	0							1479	毎月1回、おめでとうの気持ちを込めて、お誕生日会を行う。おやつはシャトルレーゼのケーキ・和菓子の詰め合わせなどを提供しお祝いをする。飾り付けなどもし、子どもたちが楽しめるように工夫する。
(2) 西京こどもまつり引率	1回	4	4	6	1	2	0							17	西京こどもまつりに参加し、あそびコーナーや工作コーナーなどを楽しむ。ステージの出演も行う。
(2) ふれあいステージ出演	1回	7	4	5	1								30	47	桂中学校区のふれあいステージに出演。けん玉ダンスとダンスを披露する。
(3) 親子交流会	2回	48	27	22	7	2	0						106	212	2回目の保護者懇談会前に親子の交流会として実施する。普段の家庭とは違う子どもの姿を見る機会を設け、親同士の交流も図る。
(3) 保護者懇談会	3回	53	31	27	9	4	0						139	263	保護者の方々に子ども達の学童クラブでの様子や長期休みの過ごし方・今後の予定などをお伝えする。児童館側からの要望や保護者へ伝えなくてはいけない事項を伝える。
(2) 思い出集作り	13回	16	36	16	15	3	1	1						88	1年間過ごしてきた学童クラブを振り返り、思い出集づくりを行う。各個人ページの記入をする。
(2) 修了式お楽しみ会	1回	44	34	26	22	10	1							137	1年間の締めくくりとして式典を行う。思い出集・記念品渡しや職員によるお楽しみ会の開催。
(2) 思い出遠足	1回	49	37	27	23	9	0							145	1年間過ごしてきた学童クラブの仲間で、思い出づくりの遠足を行う。今年度は、ビッグバン大阪に行く。
(3) お弁当いらないDAY	3回	122	97	76	67	27	1							390	長期休みの中保護者の昼食準備の負担を軽減するため、学童クラブで昼食を用意する。今年度はパンくまやほっかほか亭のお弁当を注文する。
(3) 申請説明会	1回												24	24	次年度学童クラブ入会予定児童の保護者を対象に申請手続きについての説明会を開催する。
(3) 入会説明会	1回							9					96	105	次年度学童クラブの入会児童の保護者を対象に学童クラブでの生活・ルールなどを説明する。

※注1 行事名は、（1）生活援助機能 （2）子ども育成機能 （3）子育て支援機能に分類して記入すること
 ※注2 2クラス以上の館所で、クラスごとで異なる取組・行事を実施した場合は、行事名と併せて、クラス名を記入すること